

単元構想に向けた「統合的な理解」 「総合的な発揮」の活用イメージ（案）

【中2・ボール運動（ネット型）】



中学校第2学年の「バレーボール」で深い学びを実現するにはどのように単元を構成すればよいだろうか。



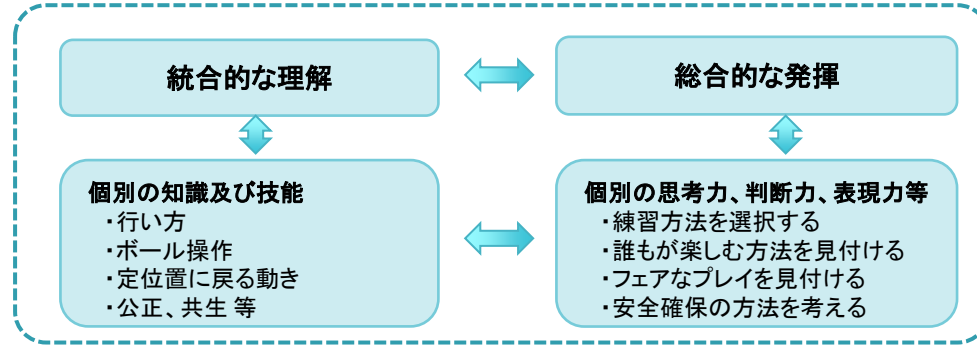
「ボール運動」の「統合的な理解」と「総合的な発揮」を確認してみよう。総合的な発揮にある「誰もが攻防の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考える」ことが大事なんだな。攻防の楽しさを味わうためには、基本的なボール操作やボールを持たない動きなどの技能を習得する必要がある。みんなが楽しむことができるようにするためには、フェアなプレイなどの公正や違いを認めるなどの共生の知識や技能を身に付けることも必要だ。公正や共生の知・技を身に付けるには、思・判・表と関連付けながら学びを深めることが効果的かもしれない。



各時間の学習が、どのように「統合的な理解」「総合的な発揮」や単元目標につながっているんだろう。



右のような単元構想図を見て、「統合的な理解」や「総合的な発揮」、単元目標と各時間の学習活動を見比べると、育成する資質・能力や学習活動の相互の関連がわかりやすいな。



		第2学年 単元名：ボール運動（ネット型） バレーボール	
		（統合的な理解）	（総合的な発揮）
		・ゲームの特性等に応じて、ボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで攻防を展開し、勝敗を競うことにより、仲間とともに一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する。	・ゲームの特性等に応じて、誰もが攻防の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を工夫する。
		・運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において運動に豊かに親しむことができることを理解する	・運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において運動に豊かに親しむことができることを理解する
		（単元の目標）知識及び技能 ・バレーボールの特性等理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ・フェアなプレイを守ることを、一人一人の違いに応じたプレイなどを認め、健康・安全に気を配ることを理解するとともに、できるようにする。	（単元の目標）思考力、判断力、表現力等 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方や運動との関わり方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
時	学習内容	単元の目標に到達するための学習のつながり	
10	<ul style="list-style-type: none"> リーグ戦 単元のまとめ 	リレーを継続し、空いた場所をめぐる攻防によるゲームを展開する	誰もが攻防の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考える
9		ルールやマナーを守ったり相手の健康を認めたりすること（フェアなプレイ）ができる	
8	<ul style="list-style-type: none"> チームの課題に応じた練習 	一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めることができる	
7		自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶ	練習やゲームの場面で、最善を尽くす様子やフェアなプレイなどのよい取組を見付ける。たま、なぜ良い取組であると考えたか、理由を添えて他者に伝える。
6	<ul style="list-style-type: none"> フェアなプレイについて チームの課題に応じた練習 	フェアなプレイを認めることで、互いを尊重する気持ちが強くなることを理解する	
5	<ul style="list-style-type: none"> 定位置に戻る動き 簡易ゲーム 	違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法（ルールの工夫など）を見付け、仲間伝える	
4	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが楽しむためには 個人の課題に応じた練習 	誰もが楽しんだり達成感を味わったりすることのできる工夫や調整が必要であることを理解する	
3	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なボール操作 簡易ゲーム 安全確保の方法 	リレーの継続に必要なボール操作の行い方を理解し、身に付ける	教師から提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間やチームの課題を発見したり出来映えを伝える
2			
1			

「高次の資質・能力」等を活かして単元を構想するプロセスの一例（イメージ）【中2・ボール運動】

第2学年 単元名：ボール運動（ネット型） バレーボール

（統合的な理解）

・ゲームの特性等に応じて、ボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで攻防を展開し、勝敗を競うことにより、仲間とともに一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する。

・運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において運動に豊かに親しむことができることを理解する

（単元の目標）知識及び技能

・バレーボールの特性等を理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。
・フェアなプレイを守ること、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めること、健康・安全に気を配ることを理解するとともに、できるようにする。

（総合的な発揮）

・ゲームの特性等に応じて、誰もが攻防の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を工夫する。

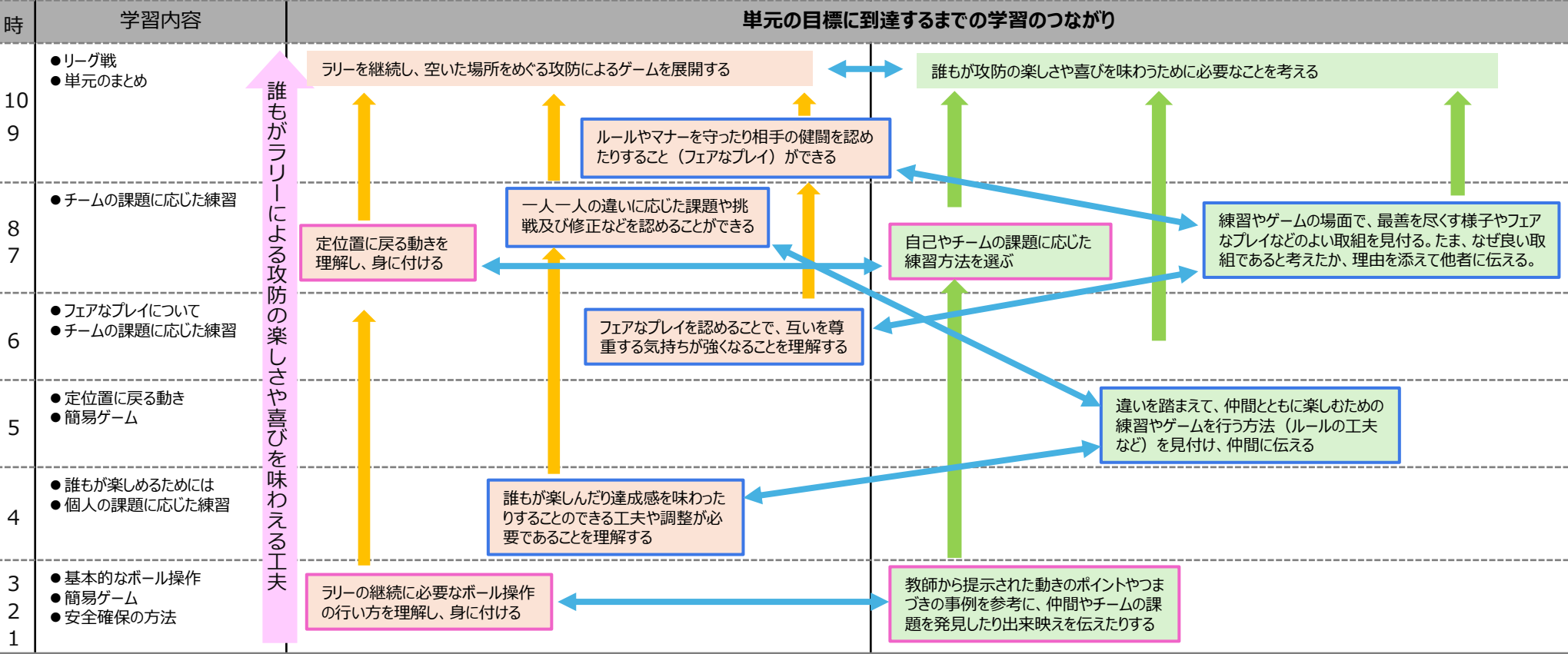
・運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において運動に豊かに親しむことができることを理解する

（単元の目標）思考力、判断力、表現力等

・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方や運動との関わり方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

単元の目標に到達するまでの学習のつながり

誰もがラリーによる攻防の楽しさや喜びを味わえる工夫



【小5・心の健康】



小学5年生の「心の健康」の単元で「深い学び」を実現するには、どのような単元構成にすればいいかな。



まず、「心の健康」の「統合的な理解」と「総合的な発揮」を確認してみよう。学習する内容項目や、それに関連する資質・能力、そして学習後の生活にどのように生かしていくことを目指しているのかも分かるよ。



具体的に単元計画を立てる際、各時間で育成する資質・能力や学習活動が、「統合的な理解」や「総合的な発揮」にどのようにつながっているか確認したいな。



右のような単元構想イメージをもつと、各時間の学習がどのようにつながり、何を狙っているのかが明確になるし、それに合わせた評価機会も設定できそうだよ。
保健に関する領域では、「総合的な発揮」に関する課題を解決していく過程で、「統合的な理解」の内容（健康に関する概念やそれに関わる原則）に着目していく学習過程を意識できれば、各時間の内容が関連付き、深い学びが実現しやすくなりそうだ。

常に「統合的な理解」「総合的な発揮」や単元目標を確認しながら、各時間の学習内容の関連を意識

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮
心の発達、心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処は心の健康に関連があり、身近な健康を保つことに関わることを理解する	心をよりよく発達させたり、不安や悩みに対処する方法を考え、身近な生活に適用する
内容項目例	
<ul style="list-style-type: none"> 心の発達 心と体との密接な関係 不安や悩みへの対処 	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康に関する課題の発見 よりよい心の発達や心と体の関わりについて考えること 不安や悩みへの対処方法を考えること

「高次の資質・能力」等を活かして単元を構想するプロセスの一例（イメージ）【小5・心の健康】

時	学習内容	単元目標・評価規準に到達するための学習のつながり
第5学年 単元名：心の健康（保健領域）		
(統合的な理解) ・心の発達、心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処は心の健康に関連があり、身近な健康を保つことに関わることを理解する。		(総合的な発揮) ・心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処したりする方法を考え、身近な生活に適用する。
(単元目標・評価規準) 知識及び技能 心の発達、心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処について、理解するとともに、不安や悩みへの簡単な対処ができる。		(単元目標・評価規準) 思考力、判断力、表現力等 心の健康について、課題を見付け、よりよい解決に向けて考える活動を通して、それらを表現できる。
4	<ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みへの対処としての、体ほぐしの運動や呼吸法の実習 学習の振り返り 	不安や悩みへの対処として、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法などがあることについて理解し、それらの対処ができる。 不安や悩みへの対処の仕方について、自分の経験と学習したことを関連付けて考える。
3	<ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みへの対処 	不安や悩みへの対処には気持ちを楽しんだり、気分を変えたりするなど様々な方法があり、自分に合った適切な方法で対処できることを理解する。 不安や悩みがある時の対処の仕方について課題を見付ける。
2	<ul style="list-style-type: none"> 心と体の密接な関係 	心と体は深く影響し合っていることについて理解する。 心と体がつながっていること具体例などについて考える。
1	<ul style="list-style-type: none"> 心の発達 	心は、様々な生活経験や学習を通して、年齢に伴って発達することを理解する。 心をよりよく発達させる方法を考えたり選んだりする。
本単元の学習に関連が強い既習内容		(中学校第1学年) 心の健康 (高等学校入学年次or次の年次) 心の健康と社会環境
(学びに向かう力・人間性等の「見取る姿」) 【検討中参考イメージ】 ・心の発達や、心と体の密接な関係、不安や悩みへの対処の仕方に着目して、心の健康に関する課題を解決しようとしている。 ・心の健康に関して、学んだことを身近な生活に生かそうとしている。		

「高次の資質・能力」等を活かして単元を構想するプロセスの一例（イメージ）【小5・心の健康】

第5学年 単元名：心の健康（保健領域）

（統合的な理解）

・心の発達、心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処は心の健康に関連があり、身近な健康を保つことに関わることを理解する。

（総合的な発揮）

・心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処したりする方法を考え、身近な生活に適用する。
※高次の資質・能力は直接の評価対象ではないことに留意

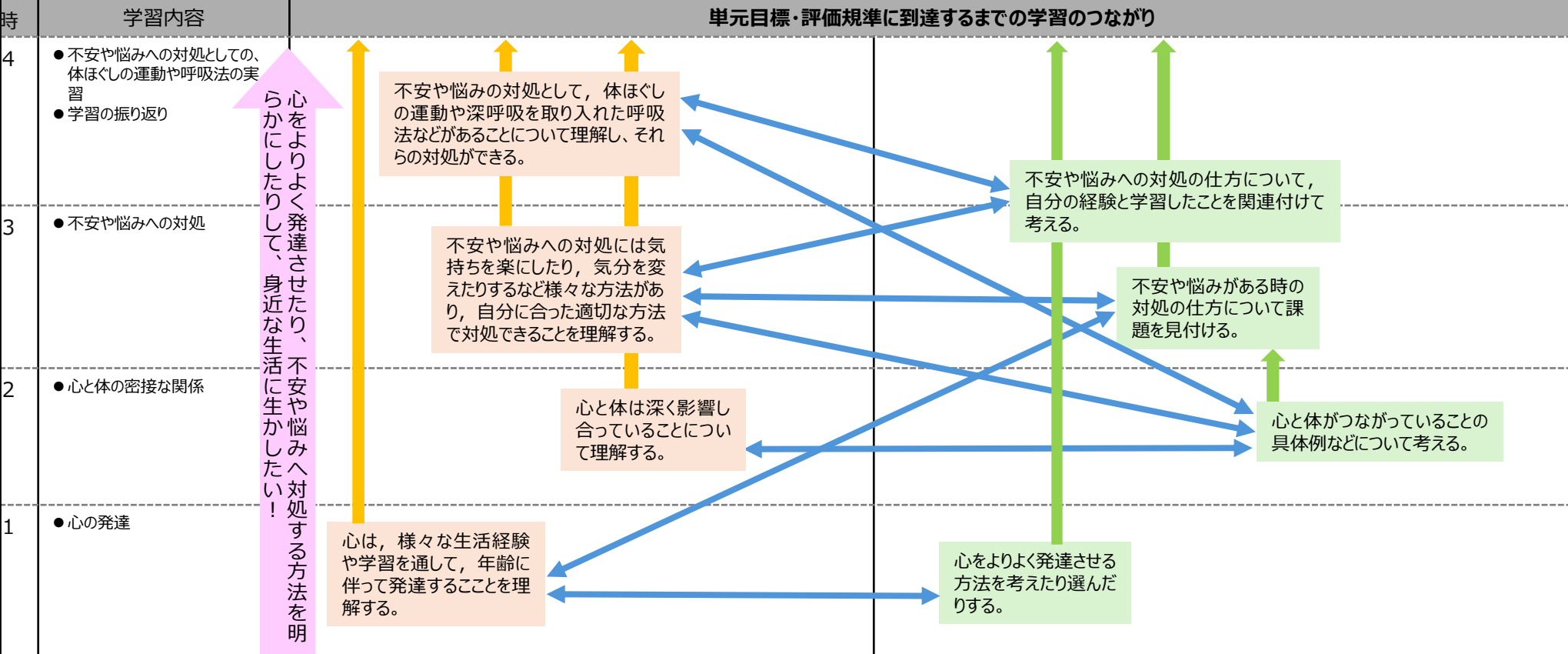
（単元目標・評価規準）知識及び技能

心の発達、心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処について、理解するとともに、不安や悩みへの簡単な対処ができる。

（単元目標・評価規準）思考力、判断力、表現力等

心の健康について、課題を見付け、よりよい解決に向けて考える活動を通して、それらを表現できる。

単元目標・評価規準に到達するまでの学習のつながり



本単元の学習に
関連が強い既習内容

（中学校第1学年）心の健康
（高等学校入学年次or次の年次）心の健康と社会環境

（学びに向かう力・人間性等の「見取る姿」）【検討中参考イメージ】
・心の発達や、心とからの密接な関係、不安や悩みへの対処の仕方に着目して、心の健康に関する課題を解決しようとしている。
・心の健康に関して、学んだことを身近な生活に生かそうとしている。

※「見取る姿」は各単元ごとに見取るのではなく、学年・学期などの長い期間を通じて見取るものであることに留意